



学校だより

豊島区立千早小学校 2月号

平成26年1月31日

校長 大関 房代



研究発表会を終えて

校長 大関 房代

1月24日、2年間をかけた研究発表会が、終了いたしました。おかげさまで当日はお天気にも恵まれ東京都内だけではなく、北は北海道から岩手、千葉、茨城、神奈川、栃木、静岡、愛知、鳥取、福井と遠くからも大勢のお客様がお見えくださり、総勢250名を超える盛会となりました。田村PTA会長をはじめ、お手伝いくださいましたPTAの皆様方や応援してくださいました地域の皆様方に、改めて厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちは、いつもとは違う学校や教員の雰囲気、自分たちも頑張らねばと思ったのでしょう。中には「先生、研究授業、頑張ってるね」と声をかけ励ましてくれる子もいて、まさに千早小が大人も子どもも総がかりで取り組んだ一日でした。

参観者の皆様方からは「先生と子どもたちの雰囲気がとてもいいですね」「子どもたちが真剣に授業に向かっている姿に感心しました」というお誉めの言葉をたくさん頂きました。歴代の校長先生方だけではなく、町会長様、育成委員の皆様、区民ひろば千早の皆様など地域の皆様方が、学校を応援しなければと駆けつけてくださったのも嬉しい限りでした。

先生たちのラストスパートもそれはそれは見事なものでした。それに応えるかのように、子どもたちも本当によく頑張り、ここにきて一気に子どもたちの力がつきました。毎日あれだけ苦心し、試行錯誤だったにもかかわらず「よくぞここまで」と思うほど、どの子どもノートのみとめが上手になりました。ノートは、その子自身の思考の道筋であり、大切な学習の足跡です。よいノートの見本をノートコンテストと称して互いに見せ合う活動を繰り返す中で、不思議なことに子どもたちのノートの字がとても丁寧になり、自分のノートを大切にすることが増えてきました。多くの担任は、子どもたちのノートを毎日見るために、学校で預かっていましたので、保護者の皆様は、なかなか目にする機会がなかったかと思います。2月のとしま土曜公開の折に、教室に置かれているノートを是非ご覧ください。きっとびっくりされると思います。

さらに、成長の記録と称して、学年の発達段階に応じて、毎月一回自分の成長を記録し、自分を振り返る時間を全校で設定しています。最後に一冊の本にして綴じるのですが、6年生の教室の前にはその最後の形として、製本した成長ブックを掲示しています。これも、学校公開の折に、見ていただきたい子どもたちの成長の証です。この研究発表会を通して、大勢の方に千早小のよさを知っていただき、子どもたちや教員に自信がついたことは、何よりも嬉しいことです。

大寒の中、インフルエンザが猛威をふるい油断は禁物ですが、幸い子どもたちは、元気に過ごしております。その元気な姿と研究発表の一端を2月のとしま土曜公開で是非ご覧いただきたいと思います。大勢の皆様方のご来校をお待ちしております。

2月の行事予定

	SC…スクールカウンセラー
3 (月) 全校朝会 委員会活動 読書旬間始	17 (月) 全校朝会 クラブ活動
4 (火) 安全指導	18 (火) 朗読朝会
5 (水) 4時間授業	19 (水) 4時間授業 (4年1組以外)
6 (木) 体育朝会 SC来校日 新一年保護者会 14:00～	20 (木) 児童集会 (クラブ発表) SC来校日
7 (金) 社会科見学 (5年)	24 (月) 全校朝会 委員会活動
8 (土) としま土曜公開授業 朗読朝会 音楽鑑賞教室 (全) 本の読み聞かせスペシャルイベント	25 (火) 社会科見学 (6年) 26 (水) 4時間授業 27 (木) 音楽朝会 PTA運営委 15:00～ 総会 16:00～
10 (月) 全校朝会 クラブ活動	28 (金) にこにこ班活動・お別れ会食会 SC来校日
11 (火) 建国記念の日	
13 (木) 児童集会 5時間授業	
14 (金) 読書旬間終 SC来校日 5時間授業	※避難訓練は「予告なし」で実施します。

【今月のとしま土曜公開授業 8日(土)】

- 朗読朝会 体育館 2. 4. 6年生発表 8:25-8:40
- 授業公開 1校時 8:50- 9:35
2校時 9:40-10:25 音楽鑑賞教室 (全学年) 体育館
3校時 10:45-11:30

※ 2校時の『音楽鑑賞教室』は、本校校歌の作曲者 平井康三郎さんのお子さんとお孫さんによる音楽鑑賞教室を実施いたします。

※ 授業内容については、後日配布するお便りをご覧ください。

【体育講師紹介 片山 香先生】

あすなろ学級担任の桑原道予教諭の妊娠に伴い、母体保護のため体育を講師の片山香先生が月曜日1時間目、木曜日1校時、金曜日1時間目に実施しております。

【研究発表会 報告&御礼】

1月24日(金)、平成24. 25年度 豊島区教育委員会研究推進校の研究発表会を開催しました。5校時の生活科・社会科の授業公開と体育館での研究発表を実施しました。当日は陽気にも恵まれ、北は北海道から西は鳥取県まで、全国から250名をこえる参加者があり、真剣に学習している子供たちに賛辞の声が多く聞かれました。ご来校、ご協力いただきました全ての方々に感謝いたします。

ちはやひろば

今月は、①小中連携②保健
についてです。



小中連携

「小中一貫教育連携ではぐくむ確かな学力」

教務主任 熊谷 美雪

「小中一貫教育連携ではぐくむ確かな学力～問題解決能力の育成～」をテーマに、明豊中学校・椎名町小学校・さくら小学校、そして千早小学校の4校で定期的に情報交換や交流を行っています。

具体的には、4校の教員が集まって開かれる情報交換会（年3回）や授業公開、明豊中の教員が小学校の授業に指導者として加わったり、児童が明豊中へ出掛け中学校の授業を体験したりする取り組みなどが挙げられます。また、中学生が描いた「おすすめの本の紹介カード」を千早小の校内に掲示したり、5年生児童が明豊中の合唱コンクールリハーサルの様子を見学したりするなどしています。子供たち自身が中学校の様子を感じ取ることを通して「中一ギャップ」をなくし、発達の連続性を大切にしながらスムーズな中学進学を目指しています。

今後も、こうした取り組みを積み重ね、小学校から中学校へのスムーズな接続に努めていきたいと考えています。



保健

「くすりの適切な服用」

養護教諭 渡邊 薫

最近ではだいぶ少なくなりましたが、今でもたまに「頭が痛いので薬をください」と言って保健室を訪れる子がいます。保健室は病院ではないですし、まして医者でもない私が、勝手な判断で内服薬を出すことはできません。熱もなく、見る限り耐えられないような痛みでもなさそうです。薬を出せない理由を、そのように丁寧に説明すると、とりあえず納得して戻ってはくれますが、普段から気軽な気持ちで薬を使う習慣があるのかな…と、少し気がかりになったりもします。

長崎地区7校の5年生356名に、薬に対する意識についてアンケートを行ったところ、家の人に相談してから使う（85%）という、いい意味での慎重さはうかがえましたが、例えば、水以外の飲み物で薬を飲んだことがある（62%）、頭がよくなる薬や、やせる薬があると思う（15%）のように、間違った知識をもっている部分も垣間見え、改めて、薬に対する正しい知識を学ぶ機会の必要性を感じているところです。

ご家庭ではいかがでしょうか。ちょっとした頭痛や腹痛でも、大人がするように簡単に薬を服用する習慣はありませんか。まずは、人間がもつ自然治癒力を理解させ、病気を治す力がうまく働かない時に、きまりを守って上手に薬の力を借りる…そういった感覚を、できるだけ小学生のうちに身につけさせたいものです。薬物乱用防止の観点からも、くすり教育は大切であると感じるこの頃です。

